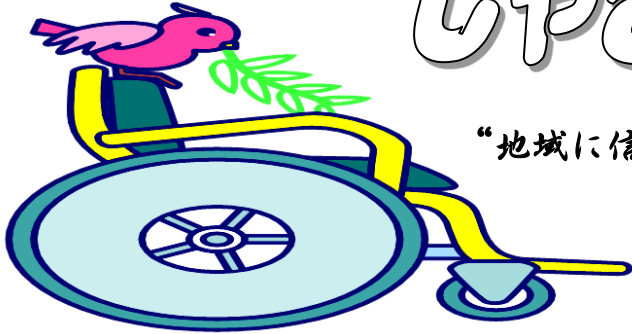


しまきよう第4号



“地域に信頼され 安心を提供できる 社協を目指して”

発行元 社会福祉法人和泊町社会福祉協議会

発行日 平成26年 6月25日

社会福祉協議会では、次の役職員体制の下、「誰もが安心して暮らせるまち“和泊町”」の実現に向けて、住民主体による地域福祉の充実と組織化に全力で取り組んでまいります。

《役員紹介》 H26,06,01 現在

(敬称略)

会長	竿田 富夫	有識者	評 議 員			
副会長	長田 榮利	有識者	伊集院周克	区長会代表	榮 富弘	民児協代表
理事	名島 勝一	施設代表	大屋 富茂	区長会代表	中村 スエ	長寿クラブ代表
理事	長田 隆一	教育委員代表	榮 末雄	区長会代表	村田 行夫	障害者団体代表
理事	森 富隆	区長会代表	太 直孝	区長会代表	外山 恵美子	母子会代表
理事	盛 泰夫	有識者	竹下 敏也	農協代表	佐々木よし子	保護司会代表
理事	瀬川 光雄	行政代表	南 好二	商工会代表	吉 峯 実文	遺族会代表
監事	上原 清	有識者	葉棚 美津乃	女性団体代表	葉棚 文雄	行政代表
監事	松下 元文	有識者	安 徳 建二	NPO代表	理事7名、監事2名、評議員15名	
第三者委員	石原 純子	民生委員	中屋 吉右	福祉行政経験者	今井フサ子	学識経験者

《職員状況》

事務局	高齢者福祉部門	障害福祉部門	児童福祉部門	合計
7名	31名	8名	34名	80名

～町民の皆さまのご理解とご協力をお願い致します～

I 平成25年度の主な社協活動（地域福祉活動）の実績について

①相談・支援事業

高齢者関係	障害者関係	児童関係	その他	合計
48件	63件	17件	11件	139件

②福祉サービス利用支援事業（契約件数24件）

相談支援	金銭管理	各種手続き	書類等預り	合計
752件	758件	20件	4件	1534件

※判断能力に不安のある方の日常生活を支援する事業です。

③福祉機器リサイクル（貸出）事業（貸付件数：17件）

④シニアはつらつ（脳トレ）教室開催事業

○教室開催数：50回（延利用者数：1051名）、シニアはつらつ倶楽部（参加数：65名）

○学習サポーター派遣（延参加者数：300名）

⑤暮らし安心・地域支え合い推進事業（コーディネーター1名配置）

○支え合いマップ作成支援（19回、延参加人数：183名）



- 住民座談会（9回、延参加人数：88名）
- ふれあい・いきいきサロン立上・運営支援（20回、延参加人数：514名）
- 生活支援サポーター養成講座（13名）

⑥くらし安心ネットワーク事業

- 在宅福祉アドバイザー（130名）、訪問支援回数（7870回）
- 支え合い会議（38回、延329名）、研修会（2回、延133名）

⑦生活支援サービス「あぐネット」事業

- 生活支援サポーター会員：30名、利用会員：43名
- 活動件数：147件、派遣人数：233名
- 懇談会（6回、延参加人数：88名）、あぐネット通信6回発行

⑧介護職員初任者研修事業・資格取得者：9名（136時間）

⑨ボランティアセンター運営事業

- 相談件数：173件、斡旋件数：168件、登録者数：527名
- ボランティアスクール・講座（16回、延参加人数：484名）等

⑩赤い羽根共同募金事業（募金総額：1,494,739円）

⑪赤十字活動（社資総額：1,072,500円）

- 災害救援物資・災害見舞金配布：13件、赤十字奉仕団研修会（参加人数：58名）

⑫祭壇貸付事業（貸付件数：8件）・補装具相談会（5回、相談件数：31件）

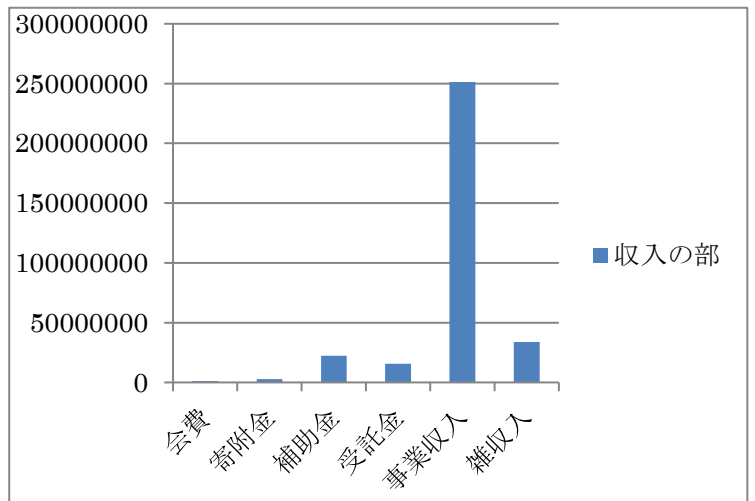
⑬スクールソーシャルワーカー活用事業（2名配置、活動件数：134件）

⑭福祉団体支援事業（障害者団体・母子寡婦福祉会・遺族会の事務局）

Ⅱ 平成25年度収支決算の状況（特別会計を含む。）

〔収入合計：326,960,330円〕

① 会費	1,076,400円
	(2,691世帯)
② 寄附金	2,640,832円
③ 補助金	22,313,000円
④ 受託金	15,748,700円
⑤ 事業収入	251,346,905円
⑥ 雑収入	33,834,493円

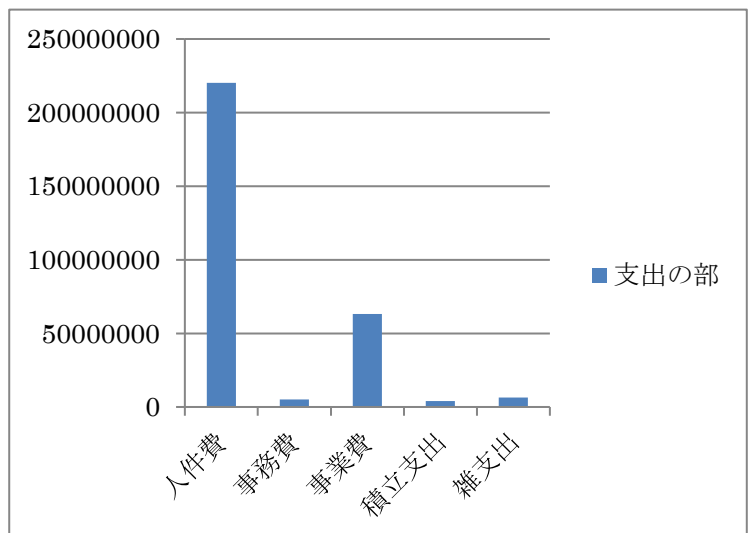


保育園の児童数の減少が顕著に表れている。

逆に、障害福祉サービス（居宅介護、就労支援、障害児通所支援）は増加傾向にある。多種多様化するニーズへの対応が求められる。

〔支出合計：299,051,080円〕

① 人件費	220,239,922円
② 事務費	5,121,282円
③ 事業費	63,206,576円
④ 積立支出	4,053,728円
⑤ 雑支出	6,429,572円



人件費は、利用児者数が昨年比で減少したことに伴いやや減。施設・設備等の老朽化による修繕や取替に係る経費が増加傾向にあり、積立基金や各種補助事業等の活用を含めた財源確保とサービスの質の向上を図るための人材の養成・確保が大きな課題です。

〔災害時相互応援協定締結〕



近年、奄美地区においても豪雨災害や台風災害と度重なる自然災害に見舞われました。社協では災害発生時に災害ボランティアセンターを設置し、被災者の生活支援やボランティアの活動支援を行う役割を担っています。そのため、大規模な災害が発生した際に、職員派遣や資材提供などの相互支援を円滑に行うことを目的に、昨年12月6日奄美市において、大島地区12市町村社協の会長出席のもと、災害時相互応援協定を締結しました。今後は、個人集落単位での防災対策も重要です。

〔ふれあい福祉スポーツ大会〕

第18回ふれあい福祉スポーツ大会が昨年9月1日に町民体育館において、開催されました。

障害者団体・母子寡婦福祉会の会員やその家族約140名が参加し、高千穂・琴平・国頭・城ヶ丘の4チームに分かれて、他の大会ではあまり見られない車いすや本物のスプーンを使ったユニークな競技にチャレンジしました。勝敗は二の次。事故もなく終始笑いの絶えない大会になりました。また、和泊中・城ヶ丘中の生徒の皆さんが運営ボランティアとして、競技の試技や準備等、テキパキと動き、大いに盛り上げていただきました。



〔同行援護事業開始〕

平成25年12月から、障害者総合支援法に基づき、本会居宅介護事業所において同行援護事業を開始しました。同行援護とは、視覚障害により移動に著しい困難を有する方に対し、同行し移動に必要な情報の提供や援護、食事や排せつ等の介護を行うサービスで、買い物や通院、講演会や冠婚葬祭など、様々な行事へも安全に安心して出席できるようになりました。サービスに従事する職員も県視聴覚障害者情報センターから歩行訓練指導員を講師に迎えて、講義と実技指導を行いました。サービス利用手続きは役場保健福祉課へ。



〔歳末たすけあい街頭募金活動〕



毎年例の歳末たすけあい街頭募金活動が12月30日の午前午後の2回にわたり、行われました。

年末商戦の真っ只中、商店主のご理解のもと、小中学生、地域女性連絡協議会員、民生委員児童委員、社協職員等117名の参加が得られました。

当日は、好天に恵まれ、参加者は、募金の趣旨を踏まえて、積極的に取り組んでいただき、大きな成果を上げることができました。集まった募金は、地域の低所得世帯等に歳末見舞金として、各地区民生委員児童委員から配分されました。

〔支え合い会議〕

全ての地域住民が安心して暮らせる福祉のまちを実現するために、地区民生委員を中心に見守り活動を展開しています。その活動の充実と円滑な推進を図るため、各集落で、支え合い会議を開催し、集落地図を活用した対象者の選定や担当割、対象者の交友関係、危険箇所や避難経路等の情報を地図に落とし込み、情報を共有化することにより、地域ぐるみで見守る体制の構築が期待されます。見守る側、見守られる側だけでなく、地域に暮らす全ての住民が活動に関心を持ち、様々な形で関わり連携する地域を目指して頑張りましょう。



HALFコースにおける給水ボランティアに43名（一般19名、中学生24名）が応募していただきました。少し動くだけで汗ばむ陽気の中、例年になく多くのランナーの出走と慣れない給水活動に大忙し。ランナーの皆さんからのお礼の言葉に、暑さと疲れも忘れて無我夢中で活動しました。レース終盤には、最終給水所に全員が集合し、最終ランナーまでしっかり応援と支援を行いました。来年も大会を陰で支えるボランティアの活動をサポートしていきます。あなたの応募待っています。

〔ふれあい・いきいきサロン〕



国頭庁では、住民座談会において、「高齢者が気軽に集える場がほしい」との意見から、区長や民生委員の協力を得て「国頭ぴんぴんサロン」がスタートして、1年が経過しました。今では月1回、旧公民館に集まり、楽しい時間を過ごしています。この取り組みは、少しずつ町内に広がりつつあります。自分たちの楽しむ場を自分たちで計画するのもわくわくするのでは。社協では、7月6日（日）にサロンリーダー研修を計画しています。様々なサロンの紹介も予定しています。是非、ご参加ください。

〔花の島沖えらぶジョギング大会〕



～お知らせ～

社会福祉協議会では、住み慣れた地域で安心して暮らしていただくために、公的サービスでは対応が困難な日常生活上のちょっとした困りごとを解決する住民主体の仕組みとして、平成24年7月から「生活支援サービスあぐネット」を開始いたしました。事業対象は高齢者や障害者等で、家の掃除や衣類の整理、庭の草取り、買い物等の外出支援などのサービスをボランティア精神旺盛な生活支援サポーターが行います。「あぐネット」サービスをご利用になるには、会員登録と利用料金（1時間300円）が必要となります。詳細については、下記まで。

お問い合わせは、社協事務局（92-2299）までお気軽にご連絡下さい！